

毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

公表:	2025年3月1日	スタッフ 20 名回答			事業所名:	さんぼみち
	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は、改善目標
環境・体制整備	①訪問支援使用する教具教材は適切であるか。	9	0	11	先生の特徴や支援の状態を把握した上で、事前に、発達障害についての本の一部をコピーして用意したり、先生と協議したことを文章にまとめて郵送したりしながら、子どもについての理解を共有できるように工夫している。 状況に応じてタブレット等使用しながら、正確な記録を残せるようにしている。 部屋の環境や利用している絵カードなどを必要時に資料として見せることが出来たら良いと思っているが、いまのところ出番はない。 園や学校と共有しやすい書籍等も必要に応じて用いられるようにしたい 資料を読み直したり、先輩に聞いたりすることがある。	基本的に教具教材は使用していないが、必要なものがあれば取り入れていくことも検討していきます。
	②利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか？	4	4	12	職員配置に余裕があれば気兼ねなく訪問に行けるが、なかなか大変。 もつとスタッフが多ければよいのに、と思うことはあります。	訪問支援員としてはかなりの人数配置しているが、持っている担当数が多すぎる場合もあるので、配置の再検討をしていく必要もあると感じています。
業務改善	③業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1	9	反省が、細やかに反映されにくい(現場職員が、反省を元あまり動けない)。 よくご連絡頂き、意識はしておりますが計画に率先して参加できているかという自信がありません。 記録を書く時間が振り返りとなるのですが、自分の業務改善にまで思い至っていませんでした。	訪問支援員が集まる会議体が少ないのが課題であります。
	④保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	6	面談の中で保護者からお話を伺ったり、保護者との面談を行ったりしている	保護者向けの評価表も今年度始まったばかりなので、これを今後の業務改善に活かしていきたいと思えます。
	⑤職員の意見などを把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	2	訪問専門員の方がよく話を聞いてくださるので大変助かっております。 職員の声が、どれくらい取り上げられているのか把握できないが、声を発する機会が少ない可能性がある(個人個人が発信していることはあるかもしれない)。	兼務スタッフが多いので、スタッフ同士で情報交換や意見交換の場が物理的に少ないので、意見を把握する機会を増やしていきます。
	⑥第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	11	先輩から意見をいただくことはありますが、外部評価は受けていないと思えます。	外部評価は行っていませんが、それに準じた内部評価を行っていきたく思っています。
	⑦職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会を確保されているか。	14	0	6	個人の判断に委ねられている 保育所等に特化した研修機会があるとより良いと考えます。	保育所等訪問に特化した研修も検討します。
	⑧個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	19	0	1	児発管の指導のもと、保護者や子どもの様子を定期的に把握し、潜在的なニーズを確認するようにしている。 必要時に医療機関での検査結果を持ってきてもらうなど、子どもの特性の理解に努め、保護者と相談しながらできている。	アセスメントはとても大事なので、しっかり行っていきます。
	⑨保育所等訪問支援計画を作成する際には児童発達支援責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解のもとで、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20	0	0	担当心理士も協議に参加している。 児発管の指導のもと、保護者や子どもの様子を定期的に把握し、潜在的なニーズを確認するようにしている。 今後の利用の必要性を保護者や訪問先と相談したり、こどもの様子を見て経過を予測しながら対応している。	
⑩保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	19	0	1	担当者に計画案を確認してもらい、必要時に内容を追加修正してもらっている。 担任から見た、対象児の様子を伺い、その様子に合わせて計画案の内容を変更したり修正したりしている。		
適切な支援の提供	⑪保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	5	職員間での共有は、まだまだ意識されていないところもあるように思う。	担当するスタッフ間ではしっかり計画を共有して支援を行っています。
	⑫子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用するなどして確認しているか。	15	0	5	確認できている職員と、できていない職員がいる。 必要時ASEBA評価表等を用いて、保護者および支援者それぞれからの状況を確認している。	スタッフがスキルアップできるよう、勉強会を行っています。
	⑬保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0	6	園や学校が変わった際にも、おおまかな目標になりやすく、細かいところは訪問に行ってからということも多い。事前に学校の様子を聞いたり、保護者に細かく聴取したりすることも必要だと思う。	
	⑭保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	0	3		
	⑮支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	6	早朝からの訪問支援の依頼も多いため、週1回のMTIにて予定や支援方針を共有している。 見るポイントなどを共有し、必要に応じてその場で確認をしている。	チームの連携はとても大事だと考えています。
	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	5	先生方の都合に併せて放課後に面談等行うことも多いため、週1回のMTIにて様子や支援方針を共有している。	訪問先で困ったことがあった時には、その他のスタッフにも情報共有したり、みんなで対応を考えています。
	⑰保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	18	0	2		同じ支援者として、訪問先に対し、上から目線にならないように注意しています。
	⑱毎回の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20	0	0		
	⑲定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	20	0	0		
	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議し、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	0	3	家庭の様子なども含めて話し、本人が安心して学校や園での生活を送れるように情報を共有している。	できるだけ訪問スタッフも会議に参加できるようにしています。
関係機関や保護者との連携	㉑地域の保健、障害福祉、保育、教育などの関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	19	0	1	学校だけでなく、放課後等デイサービスに連絡を取って情報を共有したりしている。	
	㉒就園、就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか。	18	0	2		それぞれの機関と情報共有して、切れ目のない支援を心がけています。
	㉓質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関などから助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	13	0	7	医療機関等との定期的な連携を図っている。	医療との連携は密に行っています。
	㉔(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	4	11	個々の職員により差がある 事業所の方は積極的に参加されていますが、個人的には参加できておりません。	中核機能担当職員が参加しています。
	㉕日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	19	0	1	支援前後以外にも、可能な限り保護者や子どもに声掛けを行い、変化を見落とさないよう努めている。 変化がありそうな時期に連絡を入れたり、何かあったときには保護者から連絡を入れてもらったりして、スムーズに訪問したり訪問先との連絡が取れたりするようにしている	保護者様への報告は、できるだけ丁寧にわかりやすく行うよう努めています。

	②6 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報共有などを行っているか。	13	0	5		児童発達支援センターで行っています。
保護者への説明責任等	②7 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17	0	3	細かなところまで把握できていない	利用料金の改定の周知が足りなかったという指摘がありましたので、今後はしっかり周知させていただきます。
	②8 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	20	0	0	学校からの問い合わせに適宜対応している。	このアンケートについての目的が伝わりきれておらず反省しております。
	②9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20	0	0		
	③0 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	20	0	0		
	③1 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17	0	3	学期の始めや長期休みのあと等、変化が起こりやすい時期には連絡を入れている。	
	③2 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	7	10	3	一部に限られている。	保育所等訪問の登録者数が270件もありますので、保護者会を開催するのは実際困難ですが、保護者様向けに情報発信の機会は増やしていきたいと思っております。
	③3 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	5	必要な手続きについての案内を行っている。	
	③4 定期的に通信などを発行することや、HPやSNSなどを活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	7	11		③1の回答と同様に検討していきます。
	③5 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	20	0	0		毎月支援計画や受給者証の扱いに、一部不備があり申し訳ございませんでした。取り扱いには十分に注意するよう、スタッフに周知します。
	③6 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17	0	3	訪問の様子を文章にして添すなど、理解しやすく、また後で疑問に思ったことなどがあれば聞きやすいようにしている。	情報伝達が円滑にできるよう工夫していきます。
訪問先施設への説明等	③7 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	19	0	1	対応法に困ったり、その場でうまく答えられないようなときには、主治医に報告し、相談したりしている。	
	③8 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	15	3	2	必要時、医療機関と連携した上でやっている。担任や発達支援の担当者と話すことが出来ている。必要時に家庭の状況等の資料を持参している。	
	③9 保育所等訪問支援の実施後に、家族などへ適切に支援内容などの共有を行っているか。	19	0	1	家庭でやってほしいことを伝えたり、園や学校で取り組んでもらう支援を保護者に伝えている。ご家族の面談日に、共有している。	
	④0 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	20	0	0		
	④1 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	15	0	5	勉強不足を実感することも多い。相談を持ち帰る等して、何とか検討するようにしている。信頼関係の構築のために継続的な努力が必要と感ずることがある。	
非常時等の対応	④2 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20	0	0		
	④3 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分にされた中で支援が行われているか。	20	0	0		今年度より取り組んでいます。
	④4 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	20	0	0		
	④5 虐待を防止するため、職員を研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	0	0		
	④6 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	0	0	組織的な決定というよりは、当たり前の対応を共有している。	保育所等訪問では、身体拘束をするような場面は想定されないもので、計画の中では特に触れてはいたませんが、研修は行っています。